

株式会社田切農産の稲WCS生産の取組み

株式会社田切農産



設立前

小集落ごとの機械利用組合など
農家個別の経営

営農センターの設立（昭和61年～）

兼業農家・専業農家がそれぞれのむきに
合った農業を町ぐるみ、地域ぐるみによ
る地域複合経営を目指す

集約（地区営農組合の設立）

各集落にあった組織を地区ごとに集約
農地の利用調整・作業受託

2階建法人の設立（平成17年～）

農家の高齢化、後継者不足を背景に
担い手法人を設立

新たな農業・農村政策への対応

営農組合の一般社団法人化（平成27年～）

地域資源管理法人の設立
農業政策の見直しに対応したシステム作り
ソーシャルビジネスの確立

地域・農村の問題点を洗い出す

- ☆ 農業従事者の高齢化・減少
- ☆ 若者に農業の関心がない・後継者不足
- ☆ 農業インフラの維持難・耕作条件の不利
- ☆ 営農組織の弱体化
- ☆ 農業政策の転換
- ☆ 農家収益の減少 米価格の下げ止まり

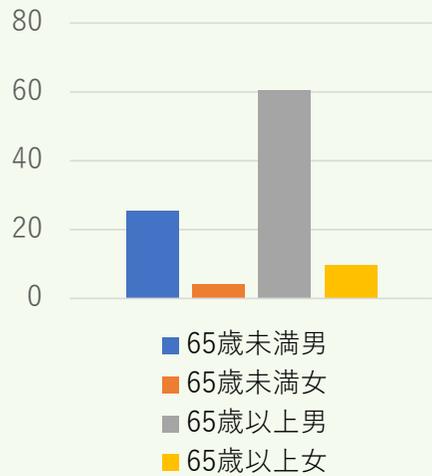
なぜ集落営農組織を法人化したのか

農地の維持 農業の継承
農村生活を守る

個の農家で解決できない問題は
集落営農組織で問題解決を目指す



年齢区分



10年後の営農意向



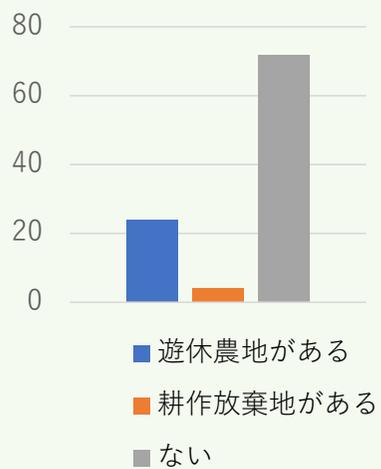
やめたい理由



農地をだれに貸すか



遊休荒廃農地の有無



遊休後背地ができた理由



農道、水路、畦畔管理の課題



令和1年意向調査から

組織活動が支える飯島町農業

営農センターを核とした地域複合経営

営農センター

農業関係機関、農業団体、農業者が長期的かつ総合的な農業・農村の活性化方策の企画立案評価を行う機構

頭腦的機能

地区営農組合

地域農業のマネジメント機能に実践機能を組み合わせた営農組織

実践機能

連携・協調

地区担い手法人

地区内農地の受託経営組織、機械施設等作業受託組織

地区農業の実践組織



地域農業の展開に向けて

農家戸数 258戸
水田面積 195ha



自給的農家 (68)
土地持非農家 (120)
兼業農家 (58) など
様々な農家



農家の役割の連携と統合
所有・生産・販売・仕事・農地活用

大規模専業 (1)
認定農業者 (10)
専業農家 (4)
(家族労働の中での多角化)



一般社団法人
月營平栗の里

飯島流
ワーケーション推進協議会

連携

株式会社田切農産

一般社団法人
田切の里営農組合

二階建て方式

面積拡大



トレーラーハウス

株式会社
道の駅田切の里



地域住民が出資し設立
した道の駅運営会社

地域農業の展開に向けての課題

- ・農家の役割の明確化
- ・経営展開のための地域条件の整備(農地集積)
- ・野菜類の導入や加工・直販など垂直的多角化を通してどう利益を確保していくか
- ・地域の農家、顧客、住民などのステークホルダーとの関係構築
- ・地域内の人材を活用し雇用の場を広げる
- ・組織管理の合理化や人材の育成

上土

中土

下土

営農組合と担い手法人（二階建方式）

<二階>

株式会社田切農産
（農業生産法人）

経営機能

地区営農組合員の
全員出資

<一階>

田切の里営農組合
（一般社団法人）

調整機能

地区内の全農家が参加

営農センター

【農業生産活動の実践組織】

- 水稻機械作業を地区営農組合から受託
- 麦・大豆・ソバ等の農地の利用権設定を受け経営
- 流動化農地を借り受け水稻・園芸作物等の経営
- 経営所得安定対策の認定経営体としての取り組み
- 農産物の加工・販売等新たなアグリビジネス
- 特定農業法人として農地の活用・保全

【地区農業の企画・農地利用調整・推進機能組織】

- 農地の管理の一元化（人農地プランの活用と実践）
- 農業・農村生活環境の整備と活性化
- 農業振興計画、農地利用計画の企画と実践
- 地域資源の保全と資質向上のための活動
- 機械・施設等の保有、作業の取りまとめ・調整
- 農業と農村機能の保全・継承

【農業関係者による組織営農の推進機構】

連携・補完

地域資源管理法人(一般社団法人田切の里営農組合)の目的



地域みんなで将来まで農地を守る

農家を減らさない 戸(個)で完結できないことを組織により解決

農地を中間管理機構を通じて集積
農地利用の効率化

地域集積協力金
等の活用

多様な担い手を確保し新たな農業の 仕組みづくりを目指す

個々の人たちの地域での役割を明確化する

水管理、草刈り作業等の流動化
農産物直売、加工など**新しい仕事づくり**
地域資源の保全と活用
ソーシャルビジネスの創設
農業体験・ワーケーション事業の推進

地域資源管理交
付金の受け皿と
活用

法人化による参加者の意識の変化を求める

出資と参加による意識改革

経営所得安定対策に対応し個人で頑張り
たい農家に支援が受けられるように対応

個人で経営希望
の人には作業委託

変化に対応できる組織づくり

高齢化等で農業に従事できなくなった時も農地管理ができる
仕組み 担い手の変化や農政・消費動向に迅速に対応

草刈り作業や農道水路保全などの事業
展開

農地維持支払の
共同活動として
活用

集落機能の維持発展を目指す

集落単位として利用調整や担い手育成の企画立案を担う

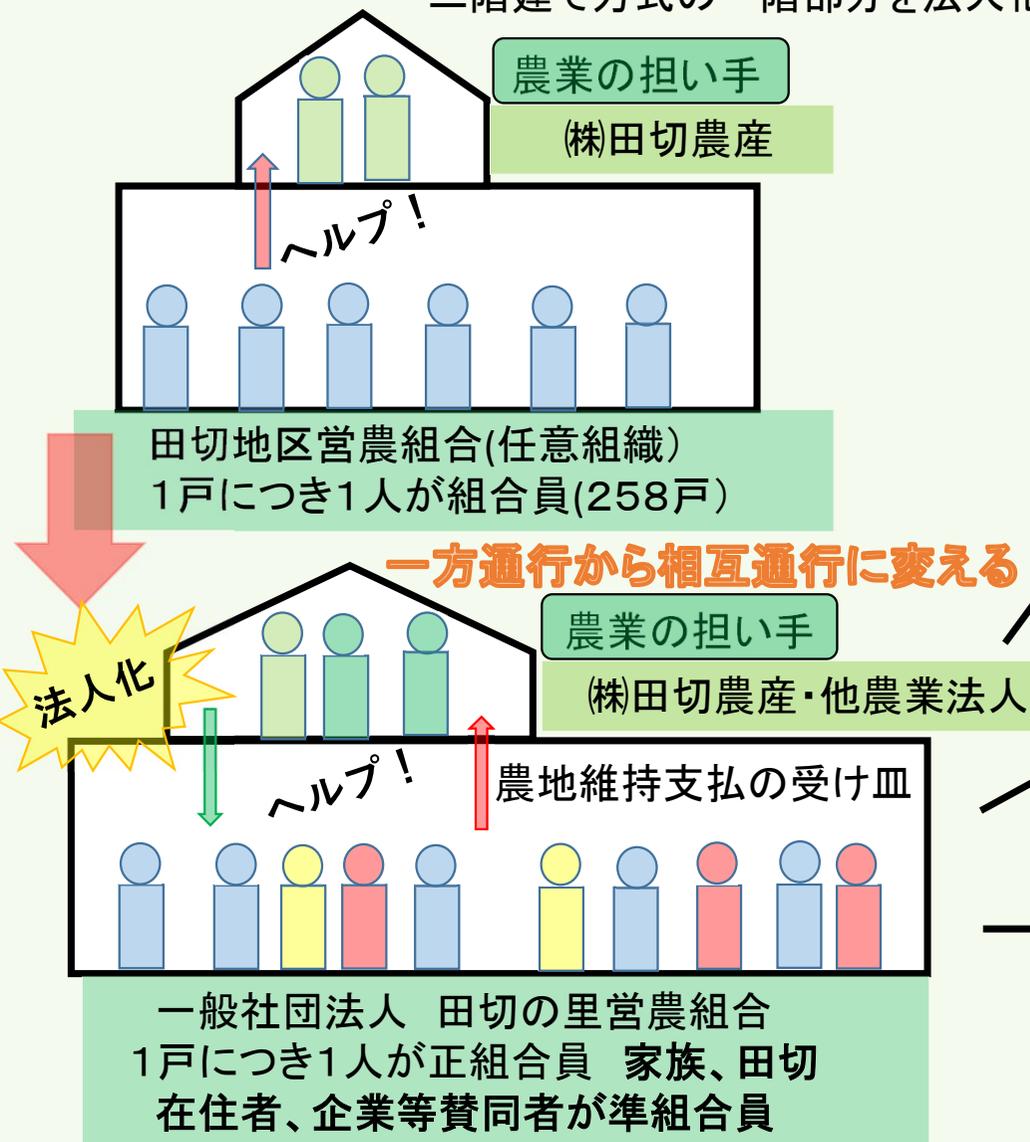
地域複合営農をめざし多様に連絡調整を 行う組織

労務を経営体ごとの繁忙期に合わせて就労体制の調整
直売所などに農産物を年間出荷できるように生産者の調整

様々な作業グループを作る
委託契約者は栽培に専念し効率化

担い手経営体と連
携

二階建て方式の一階部分を法人化するイメージ



作業
グループ

直売・加工
グループ

福祉
グループ

- 草刈りサポーター
募集・登録の運営
- 畦畔管理専門法人の設立
設立準備のサポート

- レディスファーム
募集・登録の運営
指導者派遣
農業機械レンタル

- 飯島流ワーケーション
農業塾運営のサポート
指導者派遣
トレーラーハウス運営管理

- 新たな担い手育成
若手兼業農家の育成支援
働き手の流動化サポート
新規就農者支援
未来型兼業農家育成

田切農産の経営理念

永続する農業

- 地区の農家が10年後も同じように農業を続けていくためのサポート

環境にやさしい農業

- 自然環境に配慮したやさしい農法、厳しさを増す農業環境に対応しサポートする農業

創造する農業

- 新しい農産物や事業の取り組みと地域活性化と人づくりを目指す農業



田切農産の事業



米・麦・大豆・そば等の穀物の生産販売
水稲 48ha 大豆 10ha そば 25ha 白小豆 1ha WCS8ha

野菜などの生産販売 園芸品目の導入
ねぎ委託栽培 2ha トウガラシ アスパラガスの栽培 1ha
ねぎ出荷プラントの運営 他野菜類 1ha



農産物直売所の運営 6次産業化
農産物、加工品の販売
精米・製粉プラントの運営

農作業の受託
水稲作業 延60ha 大豆防除作業 6ha
その他受託作業 15ha 乾燥施設の運営 乾燥

(令和4年度)

(株)田切農産 会社概要



- 代表取締役 1名 取締役 2名
- 平成17年4月22日設立
- 監査役 2名
- 社員 10名
- パート・従業員 35名

社員年齢
20~52歳

平均年齢
68歳

平成21年5月株式会社に変更
株主(組合員)258名

- 資本金 330万円
- 営農組合員が全戸出資
- 平成17年認定農業者認定
- 平成18年特定農業法人認可
- 平成22年直売所開店
- 平成23年全国優良経営体表彰

農林水産大臣賞受賞

- 平成24年JA長野中央会
優良組合員組織顕彰受賞
- 平成25年長野県知事賞受賞
- 平成27年日本農業賞特別賞受賞

株式会社 田切農産
株主：258名 社員・従業員数：61名（組合員と重複あり）

取締役会 3名（代表取締役1名、取締役2名）
監査役 2名
相談役 2名

営農組合長が
役員参加

経営会議
17名（大口株主）

- 普通作部・・・水稲、大豆、そばの作付・作業計画、出荷対応
- ネギ部・・・白ネギの作付計画、栽培指導、作業、出荷、選別プラント運営
- 野菜部・・・野菜全般の栽培、作業計画と生産対応
- 機械部・・・農業機械管理
- アスパラ部・・・アスパラガス栽培対応
- 果樹部・・・桃栽培対応
- 直売部・・・直売所の運営
- 経理部
- 会計・業務監査

○ 経営会議は、1階部分の営農組合役員OBと集落のリーダー的なメンバーで構成されている。

○ 組合員平均出資額は5,000円であるが、経営会議メンバーは50,000円以上を出資し経営に参画するという意識を持っている。

○ 年4回の会議を開催し、会社の方針、事業内容の検討を行っている。

連携
（一社）田切の里営農組合
（農用地利用改善団体・平成27年2月設立）

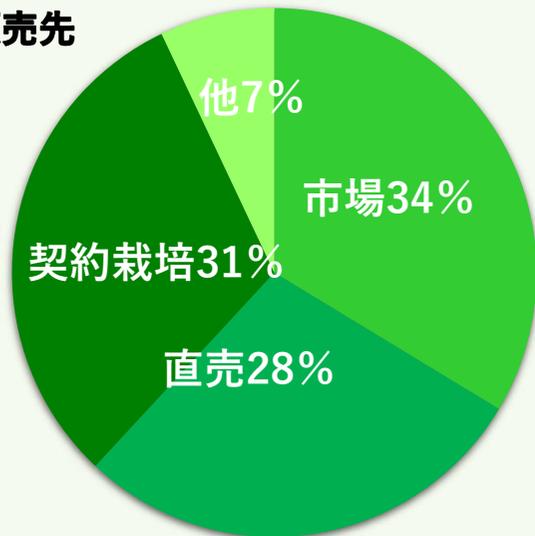
地区農業のマネージメント機能に実践機能を組み合わせた営農組織

連携
飯島町営農センター（農業再生協議会）
（昭和61年9月設立）

農業関係機関、農業団体及び農業者が、長期的かつ総合的な農業・農村の活性化方策の企画・立案・評価を行う機構

主な販売先と売上高

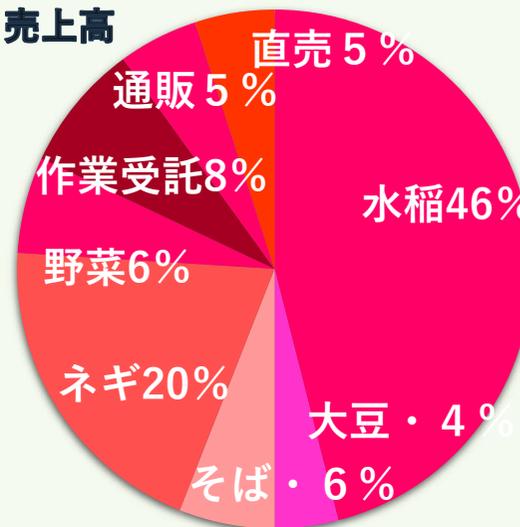
販売先



販売取引先

- 上伊那農業協同組合
- 飯田市内スーパー キラヤ
- 地元消費者
- レストラン、弁当屋
- 酒蔵 今錦 信濃鶴
- 小佐衛門 喜久水
- 遊穂
- 楽天ECサイト（そば）
- とらや 八幡屋磯五郎
- やまつ辻田 内堀醸造

売上高



水稲	48,300千円
大豆	2,800千円
WCS	2,600千円
そば	4,800千円
ねぎ・野菜	26,600千円
作業受託	9,900千円
直売	4,800千円
通販	5,200千円
製粉	1,350千円

集積農地の推移 (ha)



WCS栽培概要

栽培品種	コシヒカリ 2 ha	その他2ha
リーフスター	4 ha	
作業受託	7 ha	コシヒカリ
刈り取り時期	8月下旬	コシヒカリ
	10月初旬	リーフスター
		その他品種
収量	コシヒカリ	6~7個 (10a)
		平均1,625 k (10 a)
	リーフスター	10~12個 (10a)
		平均2,750k(10a)
ロールサイズ	直径100cm	250~260 k
販売価格	4,500円 (税込み、運賃込み)	
販売先	地元繁殖和牛農家	
	飯田市、高森町	
	和牛繁殖肥育農家	5戸
	酪農家	2戸

栽培品種：コシヒカリ

収入の部	10a換算(税込み)		
収入金額	WCSロール 製品	10a当たり収量	7個 単価 3,000円
	水田活用直接支払交付金		21,000円
	計		80,000円
			101,000円
経費の部			
	WCS刈り取り作業料金		12,000円
	ラッピング材料費用		6,650円 950/個
	計		18,650円
	苗代		18,700円 10a/22枚
	肥料代		14,160円 10a/60k
	除草剤代		2,800円
	農薬代		2,900円 箱処理剤
	計		38,560円
	* 2回目除草剤と病害虫防除は必要に応じて行う。		
	田植え作業代		8,500円
	耕起代掻き代		15,800円
	計		24,300円
収益	19,490円		



イネWCS リーフスター R4年産

水分 69.9%
乾物率 30.1%

飼料成分	原物中 (%)	消化率 (%)	原物中 (%)	乾物中 (%)
粗灰分	4.6		TDN①	
粗蛋白質	3.0		TDN② 14.8	49.1
粗脂肪	0.7			
NFE	12.8			
粗繊維	9.1	無機物	原物中 (%)	乾物中 (%)
OCC	10.2	Ca		
OCW	17.9	P		
Oa	1.9	K		
Ob	16.0	Mg		
ADF	10.2	硝酸態窒素		
NDF	15.2			
有機酸	原物中 (%)	組成 (%)		
乳酸	1.75	87.1		
酢酸	0.26	12.9	pH	4.0
酪酸	0.00	0.0		

イネWCS コシヒカリ (ずいぶん古いデータ)

水分 56.6%
乾物率 43.4%

飼料成分	原物中 (%)	消化率 (%)	原物中 (%)	乾物中 (%)
粗灰分	7.8		TDN①	
粗蛋白質	3.9		TDN② 1	55.8
粗脂肪	2.0			
NFE	59.0			
粗繊維		無機物	原物中 (%)	乾物中 (%)
OCC		Ca		
OCW		P		
Oa		K		
Ob		Mg		
ADF		硝酸態窒素		
NDF	52.0			
有機酸	原物中 (%)	組成 (%)		
乳酸	0.502			
酢酸	0.294			
酪酸	0.00			



○ 試料分析結果



作業風景



コンバインベラー





ラッピングマシン



ラップ前のロール稲



作業風景



現場検討会

これからの課題

- 機械の更新
- 資材費等の値上がり コスト高
- 価格
- 品質向上
- 雑草イネ対策

